

令和元年度
岩手県立種市高等学校第1回学校評議員会記録

日 時： 令和元年6月26日（水）16：30～17：20

場 所： 本校会議室

出席者： <評議員> A氏（地域関係者） B氏（地域関係者） C氏（地域関係者）
D氏（地域関係者） E氏（教育関係者）

<学 校> 校長 副校長 事務長 総務主任 教務主任 生徒指導主事 保健主事
海洋開発科主任 総務部員

以上14名

内 容： 1 開会

2 校長あいさつ

3 出席者自己紹介

4 学校概況説明

(1) 令和元年度学校経営計画及び状況報告について（校長）

(2) 平成30年度進路状況について（海洋開発科主任（進路指導主事代理））

(3) 令和元年度生徒指導年間計画及び部活動の主な大会結果について（生徒指導主事）

5 質疑・応答【評：評議員 ○：本校職員】

(1) 評： 3校合同チームとなっている野球部の練習はどのように行っているか。

○： 平日は各校での練習。土日を中心に合同で練習や練習試合を行っている。
部員数は本校7人、大野高1人、軽米高7人。

(2) 評： 吹奏楽部は6人で大会出場はできるのか。

○： 夏に行われる大会には出場しない。冬のアンサンブルコンテストには出場
できるので、それを目標に1・2年生4人で活動する。

評： 2年前に寄贈した楽器を有効に活用してほしい。

(3) 評： 3つの中学校が統合して10年目になるが、300名ほどだった生徒数は
半数以下に減少しており、一人ひとりの生徒が大切である。自己肯定感に関
するアンケートでは、「いいところが全くない」と回答した生徒が複数いる。
教員の生徒への声かけや関わりが必要だと感じており、生徒のよいところを
見つけてあげることが大切だと考えている。

(4) 評： 情報処理部の活動内容について教えてほしい。資格を取らせるような活動
をするといいのではないか。

○： 授業で頑張ってる生徒は、部活動でも頑張ってる活動している。他の部を辞
めたり、運動部には入りたくないが、いずれかの部に入らなければならない
という理由で情報処理部に入る生徒もおり、活動は二極化しているところ
がある。資格取得については、今後の課題として捉える。

(5) 評： ESSとはどのようなクラブか。

○： 英語教員が顧問で、絵本の英訳や英語で地元の良さを発信するなど、様々
な活動を行っている。

(6) 校長： 町で生徒を見かけて何か気付くことはないか。

評： 5、6年前より身だしなみがよくなった。

(7) 評： 新しい種市丸の乗り心地はどうか。

○： 幅が広がって安定性がよくなり揺れないため、快適である。エンジンの馬力もアップし、多少風が吹いても運行できる。

6 提言

A氏： 特になし。

B氏： 生徒数が減少しているが、地元の高校にはたくさん入ってほしい。PRビデオを作成したり、生徒を地域の行事に参加させて地域とのつながりを持ってほしい。

C氏： 特になし。

D氏： 生徒一人ひとりの個性を把握し、褒めて伸ばしてほしい。

E氏： 高校入試という、ある意味フィルターを通して入学してくる様々な生徒を育ててもらって感謝する。学力向上も大切だが、学校を、生徒たちが楽しく生き生きと生活を送ることができる場にしてほしい。

校長： 次の評議員会まで間があるので、いつでも学校に声を寄せたり、足を運んでほしい。職員や生徒にも皆様の声を届けたい。生徒を大切に育てたい。

7 その他

8 閉会